



# 日進北小だより

令和8年6月1日 第3号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884  
<https://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、  
行動できる子どもを育成する  
～自分一 すてきなあいさつ 日北っ子～

児童の学校生活の様子を、  
随時更新し掲載しています。  
どうぞ、ご覧ください。

## 五感をフルに使った館岩 ～直接体験のよさを改めて実感した2泊3日～ 教頭 松本和紀

5月12日から14日の2泊3日、5年生の子どもたちと自然の教室で館岩に行っていました。山の変わりやすい天気や左右され、臨機応変に判断しなければならない3日間でしたが、登山やキャンプファイヤー、ナイトハイクなど予定していた活動は一通り実施することができました。子どもたちは、友達と支え合いながら、日に日にたくましく成長することができました。

近年は、実際に山に登らなくても頂上の景色をドローンで見ることができたり、外出しなくてもスマートフォン一つで食べ物を届けてもらえたりと、大変便利な世の中になりました。動画配信サービスによって、あたかも自分がその場に行ったかのような体験をすることもできます。だからこそ、険しい山道を自分の足で歩き、息を切らしながら登ることや、薪を組んでもなかなか火がつかずに試行錯誤することなど、実際に体験することには大きな価値があると考えます。

また、生きた川魚をつかみ、自分でさばき、塩を振って焼いて食べるという経験は、日常生活ではなかなか味わうことのできない貴重なものです。私自身を振り返ってみても、食材を得てから口にするまでの一連の過程を自分の手で行った経験は、この館岩での体験が印象深く残っています。

とはいえ、学校教育の多くは教室での学習が中心であり、直接体験できる機会には限りがあります。だからこそ、特別な行事だけでなく、日々の授業においても、子どもたちの「なぜだろう?」「やってみたい」「できるようになりたい」を大切に、達成感や満足感を味わえる学びを充実させてまいります。

今後とも、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をお願いいたします。



## 地域みんなの「いじめ撲滅強化月間」～潤いたっぷりの6月に～ 校長 寺越崇征

突然ですが、6月といえば何を思い浮かべますか? 梅雨や夏至、紫陽花、祝日が1日もない…。「水の月」が由来とされる「水無月」という名が付いているくらいですから、雨のイメージが強い時期ですね。ジメジメと過ごしにくい印象もありますが、水は命の源。生命力の強さを感じられる季節でもあります。外で遊ぶ機会が減ってしまうのは残念ですが、雨の日こそ「雨の景色を楽しもう」というゆとりを持って、落ち着いて生活してほしいと思います。

余談ですが、私は雨の中を歩くときには、頭の中で♪物憂げな6月の雨に打たれて～♪という大好きな曲(Mr.Children「innocent world」/詞:桜井 和寿/1994年)が流れます。そんな楽しみのおかげで、6月はたとえ雨が多くなっても、私にとって好きな季節のひとつです。

さて、さいたま市では6月を「いじめ撲滅強化月間」としています。本校の取組詳細は、学校HPの「日進北小学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。いじめは法律で禁止されており、本人の苦痛を周囲の大人が見逃さず対応することが定められています。相手の尊厳や人権を無視した暴力や暴言は、いかなる理由があろうと決して許されるものではありません。

一方で、意図せず相手を傷つけてしまうこともあります。意見の食い違いや思い通りにいかない経験は誰にでもあるもので、単に「いじめ」と切り捨てるのではなく、人間関係を学ぶ「成長のチャンス」に変えられる場合もあります。大切なのは、私たち大人が「話を聴く耳」と「真意を見極める目」を持つことです。その耳と目は、日常の何気ない会話の積み重ねによってこそ鍛えられます。ご家庭でも、ぜひお子さんとの対話を大切になさってください。

「いじめ撲滅強化月間」は、子どもたちだけのものではありません。私たち大人も一緒になって考えていくことが、本当のいじめ撲滅につながっていくものと考えています。大人の耳と目で子どもたちを守り、そしてすべての子の成長を支えていく、そんな幸せな地域になるといいなと、いつも考えています。6月は祝日がない分、友達と一緒にいられる時間が多い月です。すべての日北っ子にとって、心の中も潤いたっぷりの6月になりますように。